



たん けん

探検しよう!

ほん くに

本の国



愛媛県
みきゃん

子どもにおすすめの本 2013

愛媛県立図書館



昨年一年間に発行された子どもの本の中から、
幼児から中高生までを対象に、50点を選びました。
家庭での読書や、学校での読書指導の参考になれば幸いです。
価格は、平成25年3月末現在の本体価格です。

幼 児



				
<p>おかしなゆき ふしぎなこおり 片平孝/写真・文 ポプラ社 ¥1,200</p> <p>雪が降った次の朝。外に出ると、雪や氷のおかしな形があっちにもこっちにも。冷たい空気と水が作る不思議な世界をのぞいてみましょう。迫力があるけどどこかユーモラスな自然が生んだ姿を楽しんでください。</p>	<p>きゃっきゃキャベツ いわさゆうこ/さく 童心社 ¥1,100</p> <p>身近な野菜キャベツの、意外な姿。葉っぱをむいてみると、いくらむいても葉っぱだけ。畑に出ると、芽キャベツに紫キャベツ、葉牡丹と、いろんな仲間がいっぱい。リズム感あふれる文章とおもしろい絵が、子どもの好奇心をふくらませます。</p>	<p>おべんとう 小西英子/さく 福音館書店 ¥800</p> <p>お弁当箱用意して、さあて何から入れようか?で始まるこの絵本は、からっぽのお弁当箱にご飯やおかずが詰められていくとともに、心もわくわく、温かい気持ちになる絵本です。お料理ができない小さな子どもも楽しむことができます。</p>	<p>いちじく にんじん 大阪YWCA千里子ども図書館/案 ごんもりなつこ/絵 福音館書店 ¥700</p> <p>歌い継がれた数え唄を絵本にしました。言葉のリズムと精密に描かれた、どれもおいしいような野菜や果物が楽しい作品。ぜひ、声に出して口ずさんでください。何かを数えるのが楽しくなりますよ。</p>	<p>ノミちゃんのすてきなペット ルイス・スロボドキン/作 三原泉/訳 偕成社 ¥1,200</p> <p>女の子ノミちゃんは動物が大好き。ある日ノミちゃんはママに「一匹飼ってもいい?」とおねだりします。クマがいいな、トラもラクダも…。でも、みんな大き過ぎ。さて、ノミちゃんは何にしたかな?</p>
				
<p>中をそうぞうしてみよ 佐藤雅彦+ユーフラテス/作 福音館書店 ¥900</p> <p>木製の椅子に使われた釘、針山に刺してある針、貯金箱にたまったコイン。エックス線写真で見えてくる、身近なものの中の見えないものに焦点を当て、その面白さや不思議さに迫ります。</p>	<p>くまさんのおたすけ えんぴつ アンソニー・ブラウン/さく さくまゆみこ/やく BL出版 ¥1,300</p> <p>くまさんが散歩をしているとハンターに見つかってしまいました。でも、大丈夫。くまさんには魔法の鉛筆があったのです! くまさんとハンターの知恵比べが楽しい絵本。</p>	<p>うれしいさん かなしいさん まつおかきょうこ/さく・え 東京子ども図書館 ¥1,000</p> <p>うれしいさんとかなしいさんは、喜んだり悲しんだり繰り返す。二人が友達に会いに公園へ向かうと、そこには…。前からも後ろからも楽しんで読めるお話です。</p>	<p>かつぱのこいのぼり 内田麟太郎/作 山本孝/絵 岩崎書店 ¥1,300</p> <p>ここはいよのくに、まつやまはかつぱまちです…で始まる河童の世界のお話。河童たちが「子どもの日」を楽しみに待っている理由とは?愛媛出身の絵本作家、山本孝さんの郷土愛あふれる絵本。</p>	<p>ふたごのもうふ ヘウォン・ユン/作 せなあいこ/やく トランスビュー ¥1,400</p> <p>瓜二つの双子の姉妹は小さな頃から何でも分けっこ。5歳になり、一つの毛布で寝られなくなった二人は毛布を取り合い…。双子の姉妹の小さな成長を描いた、微笑ましい物語。</p>

小学1・2年

				
<p>ずら〜りイモムシならべてみると… 安田守/しゃしん 高岡昌江/ぶん アリス館 ¥1,500</p> <p>とげとげ、しましま、まだらもよう。アゲハからオオムラサキまで18種のイモムシのいろんな姿を紹介。サナギになった姿や卵の色や形も個性豊か。自然の不思議を味わう写真絵本。</p>	<p>ちょっとだけタイムスリップ 花田鳩子/作 福田岩緒/絵 PHP研究所 ¥1,100</p> <p>二年生のゆうとは、夏休みに初めて一人で祖父の住む竜ガ浜で過ごしました。お土産で帰ったサクラ貝について、何気なくついでにしまった嘘が巻き起こす騒動とゆうとの心の変化を軽快なタッチで描いています。</p>	<p>一さつのおくりもの 森山京/作 鴨下潤/絵 講談社 ¥1,100</p> <p>クマタが大好きな本。それは、キツネの男の子がリスの女の子に自分の一番好きなものをあげるお話です。ある日隣の村が水害に遭い、被災した子どもへ、子どもたちから本をおくることになり、クマタは大好きな本を送るかどうか悩むのでした。</p>	<p>トミーは大いそぎ ヘレン・パーマー/ぶん 光吉夏弥/やく 赤坂三好/え 大日本図書 ¥1,200</p> <p>トミーは、市長さんに大至急届けたいといけないうちの手紙を預かり、いろんな乗り物を使い、市長さんの車を追いかけて、手紙は無事届くのでしょうか？スピード感があってユーモラスなお話です。</p>	<p>アンナのうちはいつもにぎやか アティヌーケ/作 ローレン・トビア/絵 永瀬比奈/訳 徳間書店 ¥1,300</p> <p>アンナ・ハイビスカスはアフリカの女の子。両親、祖父母、おじさんおばさん、いとこたちと大家族で暮らしています。アフリカの昔ながらの暮らしを通して、見守り育てられる子どもの姿を描きます。</p>

小学3・4年

				
<p>セミたちの夏 筒井学/写真と文 小学館 ¥1,300</p> <p>卵からかえったセミの幼虫は、木の枝から地面をめざします。しかし、そのほとんどがアリのえさに。生き残った幼虫が成虫になるのは、なんと6年後です。夏の2週間を精一杯生きるセミたちの姿を、カメラは生き生きととらえています。</p>	<p>いつか帰りたい ぼくのふるさと 福島第一原発 20 キロ圏内から来たねこ 大塚敦子/写真・文 小学館 ¥1,500</p> <p>猫の名前はキティ。福島原発事故の被災猫です。家は、原発20キロ圏内。保護され東京で暮らしています。なぜ、ふるさとを失わなければならなかったのか、いつ、ふるさとに帰れるのか、キティの瞳が問いかけているようです。</p>	<p>ポテトサラダ 福明子/作 江頭路子/絵 学研教育出版 ¥1,300</p> <p>お肉屋さんのポテトサラダが大好きなケイク。でも近くにスーパーの出店ができて、お肉屋さんは大ピンチに。その上、ケイクの身にも、たいへんことが！マスコットのぬいぐるみのトントンの目から描く、ケイクとお肉屋さんのおじちゃん、おばあちゃんとの交流が温かく、心にしみみます。</p>	<p>アルルおばさんのすきなこと 松本聡美/作 見杉宗則/絵 国土社 ¥1,200</p> <p>クッキーを作りすぎて、重いものを持ってなくなったアルルおばさん。猫のテッティをだっことしてトレーニングを始めますが、だんものを持ち上げることが好きになって…。「重さ」について考えることができる本です。</p>	<p>ぼくとおじちゃんとハルの森 山末やすえ/作 大野八生/画 くもん出版 ¥1,200</p> <p>唯一の友達が転校してからひとりぼっちの輝矢。もと大工のおじちゃんと犬のハルといっしょに、山小屋でひと夏を過ごします。自然の中で暮らすうち、輝矢はおじちゃんや家族を支えている自分に気がきます。元気がもらえる一冊です。</p>

小学5・6年

				
<p>インカの村に生きる 関野吉晴/著 ほるぷ出版 ¥1,800</p> <p>南米ペルーのケロ村。人々は、インカ帝国の時代からほぼ変わらぬ暮らしをしています。電気もガスも水道もないけれど、厳しい環境に適応した豊かな暮らし。忘れてはならない大切なものが、自然とともに生きる人々の知恵と工夫のなかに生きています。</p>	<p>海辺の宝もの ヘレン・ブッシュ/著 鳥見真生/訳 あすなろ書房 ¥1,500</p> <p>メアリーは、学校は好きではないし、友達と遊ぶのも嫌い。好きなことは「変わり石集め」。世界で初めて、魚竜イクチオサウルスの全身化石を発見した12歳の少女、メアリー・アニングのお話。探求する心を持ち続けることの大切さが伝わります。</p>	<p>心のおくりびと 東日本大震災 復元納棺師 ～思い出が動きだす日～ 今西乃子/著 浜田一男/写真 金の星社 ¥1,300</p> <p>復元納棺師の活動の記録。激しい損傷に悲しみの感情さえ失っていた遺族が、復元された少女の顔に涙を流しながら話しかけ、最後の別れをします。生きるとは、死ぬとは何か、そして家族とは…。深く考えさせられる一冊。</p>	<p>糸子の体重計 いとうみく/作 佐藤真紀子/絵 童心社 ¥1,400</p> <p>ちょっと太めな5年生の女の子、糸子。成り行きでダイエットすることになったのですが…。友達との関係や家族とのことなど、ひとりでどうしようもない深い悩みを抱えた子どもたち。食いしん坊でいつも明るい糸子が、そんなクラスメートたちを少しずつ変えていきます。</p>	<p>願いがかなうふしぎな日記 本田有明/作 PHP研究所 ¥1,300</p> <p>亡くなったおばあちゃんからもらったのは、書けば願いがかなう不思議な日記帳。でも、光平は、願いをかなえるのは、おばあちゃんではなくて、自分自身の強い気持ちだと気付きます。夏休みの間に成長した光平の姿がさわやかです。</p>



<p>あたしって、しあわせ ローゼラーゲルクラント/作 エヴァ・エリクソン/絵 菱木晃子/訳 岩波書店 ￥1,500</p> <p>ドゥネは1年生になったばかりのスウェーデンの女の子。学校での毎日、仲良しの友達との別れ、ママのこと…。何があっても眠るときは幸せを数えながら眠ります。挿し絵が物語を一層味わい深くしています。</p>	<p>としょかんねずみ ダニエル・カーク/さく わたなべつた/やく 瑞雲舎 ￥1,600</p> <p>サムは図書館に住むねずみ。本を読むことが大好きなサムは、自分でもお話を書いてみることにしました。サムの本は子どもたちに大人気。そこで、図書館員がサムを呼ぶ「作家訪問の日」を計画するのですが…。</p>	<p>アナベルとふしぎなけいと マック・バーネット/文 ジョン・クラッセン/絵 なかがわちひろ/訳 あすなる書房 ￥1,300</p> <p>雪に埋もれた小さな町。ある日アナベルが拾った箱には色とりどりの毛糸が。それは不思議な毛糸。編んでも編んでもなくなりません…。結末がじんわり心にしみこむお話。</p>	<p>チュンチエ 中国のおしょうがつ ユイ・リーチョン/文 チュ・チョンリヤン/絵 中由美子/訳 光村教育図書 ￥1,400</p> <p>春節(チュンチエ)とは中国最大の伝統行事。遠くで働く父親が戻り、親子三人で過ごす春節の数日間の様子を、幼い娘の目を通して語られます。深い愛情を感じる絵本。</p>	<p>おかあちゃんがつつたる 長谷川義史/作 講談社 ￥1,500</p> <p>僕のほしいものを何でもミシンで作ってくれるおかあちゃん。でも、みんなと違うとちよつとカッコ悪い。ある日、父親参観のお知らせがきて…。明るくて前向きで子どものことを一番に考えるおかあちゃんのお話、おかしくて切ないお話。</p>



<p>うちはお人形の修理屋さん ヨナ・ゼルディス・マクドノー/作 おびかゆうこ/訳 杉浦さやか/絵 徳間書店 ￥1,400</p> <p>アナのパパは人形の修理屋さん。第一次世界大戦のために、パパは仕事ができなくなります。そこで、一家のためにアナが考えたアイデアとは…。人形を大切に思う少女の成長と、家族の絆を生き生きと描いています。</p>	<p>ピーターサンドさんのねこ ルイス・スロポドキン/作・絵 清水眞砂子/訳 あすなる書房 ￥1,300</p> <p>夏になると、ホテル島にはたくさん家族がバカンスにやってきます。そして、みんなが島の漁師ピーターサンドさんから猫を借ります。ところが、ある夏事件が…。心温まるお話です。作者自身の描くかわいい猫たちにも注目!</p>	<p>トチの木の1年 太田威/写真・文 福音館書店 ￥1,200</p> <p>トチの実、食べたことがありますか?縄文時代の昔から人々の暮らしをはぐくんできたトチの木。この本は、トチの木の1年を美しい写真とともに紹介しています。トチの花の蜜、葉で巻いたイワナやマスの新巻、そしてトチもち。木の恵み、自然の恵みに感謝する気持ちが湧いてきます。</p>	<p>なみだでくずれた万里の長城 中国の民話 唐亜明/文 蔡皋/絵 岩波書店 ￥1,800</p> <p>ひょうたんから生まれた赤ちゃん。美しい娘に育ち、万里の長城造成の苦役から逃れてきた若者と結婚します。けれども、若者は役人に捕らえられ、娘は後を追って千里を歩きますが…。落ち着いた色彩の絵が、悲しみを誘います。</p>	<p>ふるさと60年 戦後の日本とわたしたちの歩み 道浦母都子/文 金斗鉉/絵 福音館書店 ￥2,300</p> <p>戦後、1946年から現代まで、とある町の移り変わりを5年、10年刻みで描いています。細かく描き込まれた町や子どもたちの遊びの様子から、当時の人々の暮らしが生生きと浮かび上がります。家族みんなで楽しめる一冊です。</p>



<p>山の子みや子 石井和代/著 稲田善樹/絵 てらいんく ￥1,800</p> <p>岩手県で山地酪農を営む家族の物語。都会から山の生活に飛び込んだ父親、それを支える母親。長女みや子も、3人の弟たちと一生懸命手伝います。厳しい山の暮らしとともに、家族の絆、命の大切さが胸に迫ります。実在の家族がモデルになったお話。</p>	<p>もういちど家族になる日まで スザンヌ・ラフルーア/作 永瀬比奈/訳 徳間書店 ￥1,600</p> <p>パパと妹を自動車事故でなくしてから、11歳のオーブリーは、ママとふたりで暮らしてきました。でも、ある日、ママがいなくなって…。家族をなくした少女が再び母親と家族になるまでの心の成長を描いた物語。</p>	<p>ネジマキ草と銅の城 パウル・ビーヘル/作 野坂悦子/訳 村上勉/画 福音館書店 ￥1,800</p> <p>死の時を迎えた王。家来のノウサギは、まじない師に薬草を探ってくるよう頼み、その間、いろいろな動物が、胸のわくわくする物語を王に語り聞かせます。はたして、まじない師は間に合うのか、王の命は…。ラストは圧巻です。</p>	<p>さがしています アーサー・ビナード/作 岡倉禎志/写真 童心社 ￥1,300</p> <p>1945年8月6日8時15分広島。時計・軍手・弁当箱。ワンピース…。「ピガン」を体験した「もの」たちが、持ち主を、あつたはずの日常の生活を探し続けています。一枚一枚の写真が、とても美しく、「もの」たちが自然に語り出す姿をとらえています。</p>	<p>ピートのスケートレース 第二次世界大戦下のオランダで ルイーズ・ボーデン/作 ニキ・ダリー/絵 ふなとよし子/訳 福音館書店 ￥1,500</p> <p>ドイツ占領下のオランダ。10歳の少年ピートは、近所の姉弟を連れて、真冬の運河をスケートで国境を越えることに。命をかけた緊迫感の中にも、ピートの勇気、彼を信頼する家族の愛情が伝わります。</p>

				
<p>特別授業3.11 君たちはどう生きるか あさのあつこ ほか/著 河出書房新社 ¥1,200</p> <p>東日本大震災をきっかけに、私たちは様々なことを考えさせられました。若い世代のみなさんが、これから何を学び、どう生きるのかを探るための特別授業9科目。</p>	<p>すごいぞ! 「しんかい6500」 地球の中の宇宙、深海を探る 山本省三/著 友永たろ/絵 くもん出版 ¥1,400</p> <p>日本が誇る世界一の潜水艦「しんかい6500」。「深海の研究が地球の謎の解明につながる」という信念をもつ、日本の技術者たちの努力や苦勞が分かる一冊です。</p>	<p>生きるぼくら 原田マハ/著 徳間書店 ¥1,600</p> <p>ひきこもりだった青年が母親の失踪をきっかけに祖母の家を訪ねます。おばちゃんのおにぎりのおいしさに感動し、おばあちゃんのために初めての米作りに挑戦。青年の心の変化と成長を描いた物語です。</p>	<p>八月の光 朽木祥/作 偕成社 ¥1,000</p> <p>ヒロシマでは原爆投下の瞬間で七万人の人々の命が奪われました。その中を生き抜いた10代の若者たちが残した悲しみとは。記憶“すること、そして語り継いでいくこと。それが私たちにできることなのです。</p>	<p>空へのぼる 八束澄子/著 講談社 ¥1,300</p> <p>小学5年の乙葉は、両親に見捨てられ優しい大叔母に育てられます。15歳上の姉桐子が、尊敬し一緒に働いていた「空師」軍二との子どもを授かったことをきっかけに、桐子と乙葉はそれぞれ命の大切さについて考え始めます。</p>

				
<p>ドレスを着た男子 デイヴィッド・ウォリアムズ/作 クエンティン・ブレイク/画 鹿田昌美/訳 福音館書店 ¥1,500</p> <p>デニスにはサッカーが得意な男子。2年前に母親が出て行き、父と兄と三人で暮らしています。ファッション誌で見た美しいドレスの話題で仲良くなった学校一の美女リサの提案で、デニスは女装をして学校に行くことに…。</p>	<p>灰色の地平線のかなたに ルーター・セペティス/作 野沢佳織/訳 岩波書店 ¥2,100</p> <p>第二次世界大戦下のロシア。15歳のリナと家族は、ソ連の秘密警察に逮捕されシベリアの強制労働収容所へ送られます。リナを支えたのは家族への強い思いと絵を描き残して事実を伝えたいという願い。愛と勇気にあふれた希望の物語。</p>	<p>はるかなるアフガニスタン アンドリュウ・クレメンツ/著 田中奈津子/訳 講談社 ¥1,400</p> <p>アメリカの少女アビーは、特別課題としてアフガニスタンの生徒と文通することに。一方、アフガニスタンでは英語ができるサディードが、妹の代わりに手紙を書くことになります。文化の異なる遠い国からの手紙が、アビーの心を動かします。</p>	<p>大地のランナー 自由へのマラソン ジェームズ・リオードン/作 原田勝/訳 鈴木出版 ¥1,500</p> <p>南アフリカ共和国のアパルトヘイト政策のために、差別や迫害を受けながらも、大好きな走ることをやめなかったサム。国の代表としてオリンピックに出場し金メダルを手に入れたことで、人種差別と闘うサムの夢がかないます。</p>	<p>私とあなたここに生まれて 和合亮一/著 佐藤秀昭/写真 明石書店 ¥1,300</p> <p>東日本大震災の鎮魂と再起の願いを綴っている詩には、新たな一歩を踏み出す著者の思いが込められています。震災前と後の南三陸の風景を撮影した写真とのコラボレーションが、美しく悲しく心に響いてきます。今を生きるあなたに送る詩集です。</p>

編集・発行 愛媛県立図書館（子ども読書係）

掲載については出版社の許諾を得ています。無断で転載することを禁じます。

児童書を豊富に取り揃えた
子ども読書室

幅広い分野の児童書を揃え、季節、作家、各種テーマに沿った本の特別展示、掲示の工夫をして、子どもや大人が本を手取るきっかけや本を選ぶ際の支援をします。また、本の紹介や調べものの支援を行い、子どもと本の出会いを応援します。

子どもの読書に関する相談窓口
子ども読書支援センター

地域の読書活動を支えるキーステーションとして、また、子どもの読書に関する総合的な案内窓口として、みなさんの相談に応えます。子どもの読書に関することなら何でも、遠慮なくお問い合わせください。



〒790-0007 松山市堀之内 愛媛県立図書館
子ども読書室・子ども読書支援センター
TEL:089-941-1441(代表) FAX:089-941-1454
<http://www.ehimetosyokan.jp/>

